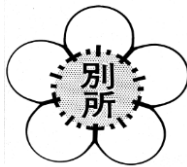


別所小の窓



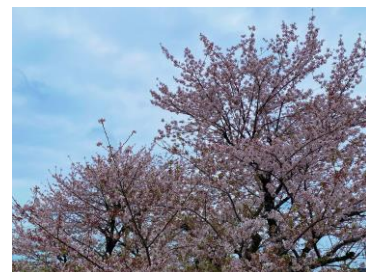
さいたま市立大宮別所小学校
令和4年5月号 児童数 790名
TEL 048-667-3633 FAX 048-667-8700
http://omiyabessho-e.saitama-city.ed.jp/

「相手意識」を大切に

校長 和田 卓也

校庭の入り口にある「ハンカチノキ」がステキな花を咲かす季節になりました。いよいよ5月に入ります。

今年度の始業式では、「ホップ・ステップ・ジャンプ」の視点から、これまでの取組を振り返りつつ、それを土台に、新たな「ジャンプ」の年に大切にしていってほしい「相手意識を大切に生活しよう」という点について話をしました。これは昨年度の学校運営協議会においてまとまった「育みたい子どもの力(姿)」（他者との関わりを大切にする力【思いやりや感謝の心】）の具現化に向けた第一歩として考えております。話のポイントは以下のとおりです。



【ハンカチのような花で「ハンカチノキ」】

- ホップ (1年目) …「見えない心」を伝えよう。(お世話になっている人にあいさつをしよう)
- ステップ (2年目) …「当たり前」と思えることを大切にしよう。
 - ⇒①「素直である事」…「成長は、素直さに比例する。」
 - ②「好きになる努力をすること」…好きな事なら頑張れます。
好きなものなら大切にします。
 - ③(すぐに)「あきらめない」こと…諦めない限り、可能性はあります。
- ジャンプ (3年目) …「相手意識」(友達はどう感じる?)を大切に生活しよう。
ジャンプの年となるよう、この3つを意識して生活してくれることを期待しています。

今年度から始まる新たな取組「さいたま STEAMS TIME」



「STEAMS 教育」とは、STEAM (理科・技術・家庭・数学) +他の教科 (国語、社会、GS、音楽、美術、保体、道徳、特活) で育まれる資質・能力をそれぞれ1つ以上育む教科横断的学習の総称で、科学技術分野の発展や革新を支え、新たな価値を創造し、未来社会をリードする人材の育成等を目的としています。具体的には、「さいたま STEAMS TIME」として年間9時間以上実施することになり、学習形態として、「プログラミング

の概念を学ぶプログラミング学習(3時間)」と「Science,Technology,Engineering,Art,Mathematics,Sports のいずれかの概念が2つ以上必要となる課題を解決するPBL【問題解決学習】(6時間)で構成されます。本校においては、プログラミング学習用ロボットを40台、4~5月の2か月間レンタルが実現できたため、右のような内容で取り組むこととしました。この教育活動のキーワードは

「ワクワク、ドキドキ」。児童が「やってみよう」と思える楽しめる活動を目指します。

令和4年度大宮別所小学校「STEAMS TIME」(9時間)

1. テーマ…「ロボットを活用した、豊かな未来を創造しよう」
2. 対象学年…3学年~6学年 (今年度は共通テーマで実施)
3. さいたま STEAMS 教育で育成を目指す資質・能力
 - 実社会につながる問題発見・解決能力
 - あきらめないで挑戦する力
 - 芸術的な感性も生かし、心豊かな生活や価値を作り出す創造性
4. STEMS 教育との関わり…Technology, Engineering, Art
5. 学習形態 (プログラミング学習 (3時間)・PBL (6時間))
 - ・プログラミング学習…「プログラミングでロボットを動かそう」
 - ・PBL…「見ている人が幸せな気持ちになれるロボット劇を創作しよう」